

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	中級中国語
科目基礎情報					
科目番号	104840		科目区分	一般 / 同時開講	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	日中ふれあい漢語教室（李貞愛 朝日出版社）				
担当教員	前崎 麗				
到達目標					
1.標準的な中国語を聞き取れるようにする。 2.標準的な中国語を話せるようにする。 3.標準的な中国語を読めるようにする。 4.標準的な中国語を書けるようにする。 5.現代中国の文化や社会を深く理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	標準的な中国語会話を正確に聞き取ることができる		標準的な中国語会話で使われる単語を聞き取ることができる		標準的な中国語会話で使われる単語を聞き取ることができない
評価項目2	標準的な中国語会話を正しい発音で話すことができる		標準的な中国語会話をに用いられる単語を話すことができる		標準的な中国語会話をに用いられる単語を話すことができない
評価項目3	標準的な中国語文を文法をふまえて正確に理解できる		標準的な中国語文に用いられる単語の意味を理解できる		標準的な中国語文に用いられる単語の意味を理解できない
評価項目4	標準的な中国語を文法をふまえて正確に書くことができる		標準的な中国語に用いられる単語を書くことができる		標準的な中国語に用いられる単語を書くことができない
評価項目5	現代中国の文化や社会の構造を正確に理解することができる		現代中国の文化や社会について、その表層をしっかりと理解することができる		現代中国の文化や社会について、表層すら理解できない
学科の到達目標項目との関係					
教養 (D)					
教育方法等					
概要	4 年次開講の初級中国語を基礎として、さらに発展させる。外国人講師が担当し、「読む・書く・聞く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。また、中国の地理・文化・歴史・社会・生活・習慣などについてより深く理解し、国際化社会に適応できる人材を養成する。				
授業の進め方・方法	外国人講師が担当し、「読む・書く・聞く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置いた授業を行う。試験は、口頭試問形式で行う。一部を台湾国立聯合大学の留学生が行う。				
注意点	言語習得には、自ら意識してトレーニングすることが不可欠なので、CDを活用することをお勧めしたい。聞くことは、話すことの前提である。よく聞き、よく話し、やる気があればきっと中国語をモノにすることができる。質問があればいつでも気軽に聞きます。				
本科目の区分					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス・中国の歴史と文化について	5	
		2週	第 1 課	1,2,3,4	
		3週	第 1 課	1,2,3,4	
		4週	第 2 課	1,2,3,4	
		5週	第 2 課	1,2,3,4	
		6週	第 3 課	1,2,3,4	
		7週	第 3 課	1,2,3,4	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	第 4 課	1,2,3,4	
		10週	第 4 課	1,2,3,4	
		11週	現代中国映画の世界（1）	5	
		12週	第 5 課	1,2,3,4	
		13週	第 5 課	1,2,3,4	
		14週	第 6 課	1,2,3,4	
		15週	第 6 課	1,2,3,4	
		16週	期末試験		
後期	3rdQ	1週	第 7 課	1234	
		2週	第 7 課	1234	
		3週	現代中国映画の世界（2）	5	
		4週	第 8 課	1,2,3,4	
		5週	第 8 課	1,2,3,4	
		6週	第 9 課	1,2,3,4	
		7週	第 9 課	1,2,3,4	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	第 1 0 課	1,2,3,4	
		10週	第 1 0 課	1,2,3,4	

	11週	第 1 1 課	1,2,3,4
	12週	第 1 1 課	1,2,3,4
	13週	中国の社会と生活について	5
	14週	第 1 2 課	1,2,3,4
	15週	第 1 2 課	1,2,3,4
	16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0